

【説明資料】 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的, 利用方法, 作品自体やその製作過程で工夫したことを, 文章, 写真, 図などで説明。この用紙1枚に記入し, PDFファイルに変換した後, ホームページに貼り付けてください。

| | | | | | |
|-----|------|----------|------|-----|------------|
| 学校名 | 三重大学 | 個人・グループ名 | 吉岡利浩 | 作品名 | 尾鷲ひのきのスピーカ |
|-----|------|----------|------|-----|------------|

ものづくり知的創造人材育成講座に参加し, 中学校技術科の教材としても扱うことができること, 製作後も長く使用できるものとしてスピーカを製作した。今後は真空管より安価でいい音の出せるコンパクトタイプのデジタルアンプを製作する予定である。



材料は三重の地場産の物を使おうと尾鷲の大工さんを訪問, お願いして, 尾鷲ひのきの集成材を市価よりも安く購入することができた。スピーカユニットはFOSTEX FF125Kを使用, 低温の響きに定評のあるバックロードタイプのスピーカを設計・製作した。

傷や汚れを防ぐため, 天然素材のナチュラルオイルワックスを購入したが, 香りがきつく, 尾鷲ひのきの香りと無垢の白木の良さが損なわれるため, 今回は塗装を施さなかった。数年後に表面の状態を見て, 塗装をして見ようと考えている。音質は家にあるONKYOの20万相当のコンポと同等かそれ以上ではないかと思われ, 予想以上のことにとっても満足している。

